

## Syllabus

学科名 1年制行政法律科					
授業科目	人文科学Ⅳ	授業形態	講義	区分	選択必修
年次	1	時期	前期	担当	本学園教員
授業回数	15	単位	2	実務家	
授業目的 概要	<p><b>【目的】</b> 講義を通して日本の歴史を学ぶことで、日本と諸外国の関係に目を向け、多様な考え方を養う。</p> <p><b>【概要】</b> 日本の歴史を学ぶ</p>				
到達目標	<p>1. 日本の歴史についての知識を身に付ける。 2. 日本の歴史上の出来事を説明できる。 3. 学習を通じて、日本と国際関係の知識を得て、分析をできるようにする。</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：江戸時代① 02：江戸時代② 03：江戸時代③ 04：明治時代① 05：明治時代② 06：明治時代③ 07：大正時代 08：昭和時代① 09：昭和時代② 10：昭和時代③ 11：演習授業① 12：演習授業② 13：演習授業③ 14：演習授業④ 15：演習授業⑤</p>				
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

## Syllabus

学科名 1年制行政法律科					
授業科目	人文科学 I	授業形態	講義	区分	選択必修
年次	1	時期	前期	担当	本学園教員
授業回数	15	単位	2	実務家	
授業目的 概要	<p><b>【目的】</b> 講義を通して日本の歴史を学ぶことで、日本と諸外国の関係に目を向け、多様な考え方を養う。</p> <p><b>【概要】</b> 日本の歴史を学ぶ</p>				
到達目標	<p>1. 日本の歴史についての知識を身に付ける。</p> <p>2. 日本の歴史上の出来事を説明できる。</p> <p>3. 学習を通じて、日本と国際関係の知識を得て、分析をできるようにする。</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：鎌倉時代(鎌倉幕府成立～承久の乱)</p> <p>02：鎌倉時代(執権政治～元寇)</p> <p>03：室町時代(鎌倉幕府滅亡～室町幕府の組織)</p> <p>04：室町時代(室町将軍)</p> <p>05：戦国～安土・桃山時代(織豊政権)</p> <p>06：江戸時代(江戸幕府の成立～武断政治)</p> <p>07：江戸時代(鎖国～正徳の治)</p> <p>08：江戸時代(享保の改革～寛政の改革)</p> <p>09：江戸時代(天保の改革～桜田門外の変)</p> <p>10：江戸～明治時代(薩長同盟～明治維新)</p> <p>11：明治時代(自由民権運動～条約改正)</p> <p>12：明治時代(日清戦争～日露戦争)</p> <p>13：大正時代(第一次世界大戦～政党政治)</p> <p>14：大正～昭和時代(昭和初期の経済)</p> <p>15：昭和時代(太平洋戦争)</p>				
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

## Syllabus

学科名 1年制行政法律科					
授業科目	人文科学Ⅱ	授業形態	講義	区分	選択必修
年次	1	時期	前期	担当	本学園教員
授業回数	15	単位	2	実務家	
授業目的 概要	<p><b>【目的】</b> 講義を通して世界の歴史を学ぶことにより、世界に対する知識や多様な考え方を養う</p> <p><b>【概要】</b> 世界の歴史（特に西洋史）を学ぶ</p>				
到達目標	<p>世界の歴史のおおまかな流れを理解できる</p> <p>世界の歴史を通して各国の多様な考え方を理解できる</p> <p>各国の歴史やその考え方を理解し、現代社会の世界的な問題を捉える視点を養っている</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：ローマ帝国</p> <p>02：十字軍</p> <p>03：大航海時代</p> <p>04：宗教革命</p> <p>05：絶対主義</p> <p>06：市民革命とアメリカ独立</p> <p>07：フランス革命</p> <p>08：帝国主義と第一次世界大戦</p> <p>09：ロシア革命</p> <p>10：世界恐慌と第二次世界大戦</p> <p>11：冷戦</p> <p>12：アメリカ通史</p> <p>13：中国史</p> <p>14：イスラム史</p> <p>15：中東地域</p>				
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

## Syllabus

学科名 1年制行政法律科					
授業科目	人文科学VI	授業形態	講義	区分	選択必修
年次	1	時期	前期	担当	本学園教員
授業回数	15	単位	2	実務家	
授業目的 概要	<p><b>【目的】</b> 講義を通して世界の地形や気候、文化や生活様式などを学習し、国際社会に対応した考え方を養う。</p> <p><b>【概要】</b> 世界の地形や気候、文化や生活様式を学習する。</p>				
到達目標	<p>世界の地形や気候 世界の資源や産業、世界の生活や知識、日本の国土や人口、産業について 世界の国々について（詳細）</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：地形①</p> <p>02：地形②</p> <p>03：気候①</p> <p>04：気候②、土壌</p> <p>05：アジア①</p> <p>06：アジア②</p> <p>07：アフリカ・ヨーロッパ①</p> <p>08：ヨーロッパ②</p> <p>09：北米</p> <p>10：南米・オセアニア</p> <p>11：演習授業①</p> <p>12：演習授業②</p> <p>13：演習授業③</p> <p>14：演習授業④</p> <p>15：演習授業⑤</p>				
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること				

## Syllabus

学科名 1年制行政法律科					
授業科目	社会科学Ⅱ	授業形態	講義	区分	選択必修
年次	1	時期	前期	担当	本学園教員
授業回数	15	単位	2	実務家	
授業目的 概要	<p><b>【目的】</b> 講義を通して経済の仕組みを学び、現代社会に関する基礎知識や分析力を習得する。</p> <p><b>【概要】</b> 世の中の経済活動について体系的に学ぶ。</p>				
到達目標	<p>経済社会や経済史についての知識を身に付ける。 経済社会や経済史について説明ができる。 現代社会に関する基礎的な分析力を身に付ける。</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：経済社会の変容と経済体制 02：現代の企業 03：市場メカニズム 04：市場の失敗 05：国民所得 06：経済成長と景気循環 07：通貨制度 08：金融政策 09：財政制度 10：財政政策 11：貿易と外国為替 12：日本経済①石油危機まで 13：日本経済②石油危機後 14：国際通貨・金融体制 15：地域的経済統合</p>				
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

## Syllabus

学科名 1年制行政法律科					
授業科目	社会科学Ⅳ	授業形態	講義	区分	選択必修
年次	1	時期	前期	担当	本学園教員
授業回数	15	単位	2	実務家	
授業目的 概要	<p><b>【目的】</b> 講義を通して経済の仕組みを学び、現代社会に関する基礎知識や分析力を習得する。</p> <p><b>【概要】</b> 世の中の経済活動について体系的に学ぶ。</p>				
到達目標	<p>経済社会や経済史についての知識を身に付ける。 経済社会や経済史について説明ができる。 現代社会に関する基礎的な分析力を身に付ける。</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：経済社会の変容と経済体制 02：現代の企業 03：市場メカニズム 04：市場の失敗 05：国民所得 06：経済成長と景気循環 07：金融政策 08：財政制度、財政政策 09：貿易と外国為替 10：日本経済 11：演習授業① 12：演習授業② 13：演習授業③ 14：演習授業④ 15：演習授業⑤</p>				
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

## Syllabus

学科名 1年制行政法律科					
授業科目	速修社会科学Ⅱ	授業形態	講義	区分	選択必修
年次	1	時期	前期	担当	本学園教員
授業回数	15	単位	2	実務家	
授業目的 概要	<p><b>【目的】</b> 講義を通して政治の役割を学び、憲法を中心とした法律の基礎知識を習得する。</p> <p><b>【概要】</b> 日本国憲法と政治との関わりを学ぶ。</p>				
到達目標	<p>基本的人権の条文規定及び判例知識を身につける。</p> <p>統治機構の権限・役割に関する基礎知識を身につける。</p> <p>学習を通じて国内政治や海外事情に関心を持つ。</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：基本的人権総論、政治制度論</p> <p>02：政治過程論</p> <p>03：精神的自由権</p> <p>04：経済的自由権、人身の自由</p> <p>05：社会権、憲法改正の手続</p> <p>06：国会の機構と運営①</p> <p>07：国会の機構と運営②</p> <p>08：内閣の機構と運営</p> <p>09：裁判所の機構と運営</p> <p>10：地方自治</p> <p>11：演習授業①</p> <p>12：演習授業②</p> <p>13：演習授業③</p> <p>14：演習授業④</p> <p>15：演習授業⑤</p>				
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

## Syllabus

学科名 1年制行政法律科					
授業科目	速修社会科学 I	授業形態	講義	区分	選択必修
年次	1	時期	前期	担当	本学園教員
授業回数	15	単位	2	実務家	
授業目的 概要	<p><b>【目的】</b> 講義を通して政治の役割を学び、憲法を中心とした法律の基礎知識を習得する。</p> <p><b>【概要】</b> 日本国憲法と政治との関わりを学ぶ。</p>				
到達目標	<p>基本的人権の条文規定及び判例知識を身につける。</p> <p>統治機構の権限・役割に関する基礎知識を身につける。</p> <p>学習を通じて国内政治や海外事情に関心を持つ。</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：憲法の特徴、人権総論</p> <p>02：包括的基本権、平等権</p> <p>03：まとめ①</p> <p>04：精神的自由権</p> <p>05：精神的自由権、経済的自由権</p> <p>06：人身の自由</p> <p>07：社会権</p> <p>08：能動的権利、受益権</p> <p>09：確認テスト①</p> <p>10：政治の基本概念</p> <p>11：政治制度論</p> <p>12：政治過程論</p> <p>13：まとめ②</p> <p>14：まとめ③</p> <p>15：前期総まとめ</p>				
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

## Syllabus

学科名 1年制行政法律科					
授業科目	速修自然科学 I	授業形態	講義	区分	選択必修
年次	1	時期	前期	担当	本学園教員
授業回数	15	単位	2	実務家	
授業目的 概要	<p><b>【目的】</b> 講義を通して日常生活や社会との関連を図りながら物理学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養うとともに、地学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。</p> <p><b>【概要】</b> 細胞や遺伝子の仕組みを学ぶ。</p>				
到達目標	<p>動物や植物についての知識を身に付ける。 生態系の成り立ちについて説明ができる。 科学的な見方、考え方を身に付ける。</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：細胞と細胞膜のはたらき 02：染色体と細胞分裂 03：酵素・呼吸 04：同化作用 05：遺伝① 06：遺伝② 07：神経系と受容器 08：循環・血液・免疫 09：肝臓・腎臓・動物のホルモン① 10：動物のホルモン② 11：演習授業① 12：演習授業② 13：演習授業③ 14：演習授業④ 15：演習授業⑤</p>				
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

## Syllabus

学科名 1年制行政法律科					
授業科目	数的処理 I	授業形態	講義	区分	選択必修
年次	1	時期	前期	担当	本学園教員
授業回数	15	単位	2	実務家	
授業目的 概要	<p><b>【目的】</b> 講義を通して合理的思考力及び計算力を高める</p> <p><b>【概要】</b> 数的推理の立式方法及び計算方法を学ぶ</p>				
到達目標	<p>四則演算を理解する</p> <p>数的推理の整数分野を理解する</p> <p>数的推理の割合分野を理解する</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：数と文字式の計算</p> <p>02：方程式・不等式の計算①</p> <p>03：方程式・不等式の計算②</p> <p>04：方程式・不等式の計算③</p> <p>05：方程式・不等式の計算④</p> <p>06：方程式・不等式の計算⑤</p> <p>07：方程式・不等式の計算⑥</p> <p>08：整数・計算パズル①</p> <p>09：整数・計算パズル②</p> <p>10：整数・計算パズル③</p> <p>11：整数・計算パズル④</p> <p>12：整数・計算パズル⑤</p> <p>13：整数・計算パズル⑥</p> <p>14：整数・計算パズル⑦</p> <p>15：整数・計算パズル⑧</p>				
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

## Syllabus

学科名 1年制行政法律科					
授業科目	数的処理Ⅱ	授業形態	講義	区分	選択必修
年次	1	時期	前期	担当	本学園教員
授業回数	15	単位	2	実務家	
授業目的 概要	<p><b>【目的】</b> 講義を通して合理的思考力及び計算力を高める</p> <p><b>【概要】</b> 数的推理の立式方法及び計算方法を学ぶ</p>				
到達目標	<p>数的推理の方程式分野を理解する</p> <p>数的推理の速さ分野を理解する</p> <p>数的推理の仕事算分野を理解する</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：割合と比①</p> <p>02：割合と比②</p> <p>03：割合と比③</p> <p>04：割合と比④</p> <p>05：割合と比⑤</p> <p>06：割合と比⑥</p> <p>07：割合と比⑦</p> <p>08：割合と比⑧</p> <p>09：速さ①</p> <p>10：速さ②</p> <p>11：速さ③</p> <p>12：速さ④</p> <p>13：速さ⑤</p> <p>14：速さ⑥</p> <p>15：速さ⑦</p>				
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

## Syllabus

学科名 1年制行政法律科					
授業科目	数的処理Ⅲ	授業形態	講義	区分	選択必修
年次	1	時期	前期	担当	本学園教員
授業回数	15	単位	2	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 講義を通して合理的思考力及び計算力を高める</p> <p>【概要】 数的推理の立式方法及び確率論を学ぶ</p>				
到達目標	<p>数的推理の場合の数分野を理解する</p> <p>数的推理の確率分野を理解する</p> <p>数的推理の方程式分野を深く理解する</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：仕事算①</p> <p>02：仕事算②</p> <p>03：仕事算③</p> <p>04：仕事算④</p> <p>05：年齢算</p> <p>06：平均算①</p> <p>07：平均算②</p> <p>08：平均算③</p> <p>09：場合の数①</p> <p>10：場合の数②</p> <p>11：場合の数③</p> <p>12：場合の数④</p> <p>13：確率①</p> <p>14：確率②</p> <p>15：確率③</p>				
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

## Syllabus

学科名 1年制行政法律科					
授業科目	数的処理VI	授業形態	講義	区分	選択必修
年次	1	時期	前期	担当	本学園教員
授業回数	15	単位	2	実務家	
授業目的 概要	<p><b>【目的】</b> 講義を通して与えられた情報を系統的に整理し、基礎的な問題解決能力と柔軟な思考力を養う。</p> <p><b>【概要】</b> 判断推理の問題を解き、解法(基礎)を学ぶ。</p>				
到達目標	<p>記号化させて問題を解くことができる。</p> <p>作図をして問題を解くことができる</p> <p>作表をして問題を解くことができる。</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：対応①（基礎）</p> <p>02：対応②（基礎）</p> <p>03：勝敗①（基礎）</p> <p>04：勝敗②（基礎）</p> <p>05：推理・手順①（基礎）</p> <p>06：推理・手順②（基礎）</p> <p>07：順序①（基礎）</p> <p>08：順序②（基礎）</p> <p>09：キャロル図（基礎）</p> <p>10：論理①（基礎）</p> <p>11：論理②（基礎）</p> <p>12：平面構成（基礎）</p> <p>13：回転と軌跡（基礎）</p> <p>14：正多面体・展開図（基礎）</p> <p>15：立体構成（基礎）</p>				
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること				

## Syllabus

学科名 1年制行政法律科					
授業科目	数的処理Ⅶ	授業形態	講義	区分	選択必修
年次	1	時期	前期	担当	本学園教員
授業回数	15	単位	2	実務家	
授業目的 概要	<p><b>【目的】</b> 講義を通して柔軟な思考力と空間認知能力を養う。</p> <p><b>【概要】</b> 判断推理の問題と空間把握の問題を解き解法（基礎）を学ぶ。</p>				
到達目標	<p>判断推理の文章問題を解くことができる。</p> <p>判断推理の図形問題を解くことができる。</p> <p>解法をしっかりと理解することができる。</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：対応①（応用）</p> <p>02：対応②（応用）</p> <p>03：勝敗①（応用）</p> <p>04：勝敗②（応用）</p> <p>05：推理・手順①（応用）</p> <p>06：推理・手順②（応用）</p> <p>07：順序①（応用）</p> <p>08：順序②（応用）</p> <p>09：キャロル図（応用）</p> <p>10：論理①（応用）</p> <p>11：論理②（応用）</p> <p>12：平面構成（応用）</p> <p>13：回転と軌跡（応用）</p> <p>14：正多面体・展開図（応用）</p> <p>15：立体構成（応用）</p>				
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

## Syllabus

学科名 1年制行政法律科					
授業科目	数的処理Ⅷ	授業形態	講義	区分	選択必修
年次	1	時期	前期	担当	本学園教員
授業回数	15	単位	2	実務家	
授業目的 概要	<p><b>【目的】</b> 講義を通して与えられた情報を系統的に整理し、応用的な問題解決能力と柔軟な思考力を養う。</p> <p><b>【概要】</b> 判断推理の問題を解き、解法(応用)を学ぶ。</p>				
到達目標	<p>基礎的な解法を様々な問題に応用することができる。</p> <p>基礎的な知識を様々な問題に応用することができる。</p> <p>応用レベルの判断推理(文章題)の問題を解くことができる。</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01: 対応①(テスト)</p> <p>02: 対応②(テスト)</p> <p>03: 勝敗①(テスト)</p> <p>04: 勝敗②(テスト)</p> <p>05: 推理・手順①(テスト)</p> <p>06: 推理・手順②(テスト)</p> <p>07: 順序①(テスト)</p> <p>08: 順序②(テスト)</p> <p>09: キャロル図(テスト)</p> <p>10: 論理①(テスト)</p> <p>11: 論理②(テスト)</p> <p>12: 平面構成(テスト)</p> <p>13: 回転と軌跡(テスト)</p> <p>14: 正多面体・展開図(テスト)</p> <p>15: 立体構成(テスト)</p>				
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	学習した解法を復習すること。				

## Syllabus

学科名 1年制行政法律科					
授業科目	速修数的処理 I	授業形態	講義	区分	選択必修
年次	1	時期	通年	担当	本学園教員
授業回数	30	単位	2	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 講義を通して推理力を高めるための合理的思考力・計算力を高める</p> <p>【概要】 難易度の高い数的推理の問題の読み取り方、立式方法、計算方法を学ぶ</p>				
到達目標	<p>難易度の高い数的推理の問題を解く事ができる</p> <p>合理的思考力を身に付ける</p> <p>合理的思考力を日常生活で生かす</p>				
授業内容	回 01：整数① 02：整数② 03：整数③ 04：整数④ 05：整数習熟確認 06：割合と比① 07：割合と比② 08：割合と比③ 09：割合と比習熟確認 10：方程式・不等式① 11：方程式・不等式② 12：方程式・不等式③ 13：方程式・不等式習熟確認 14：速さ① 15：速さ②	回 16：速さ③ 17：速さ④ 18：速さ習熟確認 19：全範囲まとめ講義① 20：全範囲まとめ講義② 21：全範囲まとめ講義③ 22：全範囲まとめ講義④ 23：全範囲まとめ講義⑤ 24：全範囲まとめ講義⑥ 25：全範囲まとめ講義⑦ 26：全範囲まとめ講義⑧ 27：全範囲まとめ講義⑨ 28：全範囲まとめ講義⑩ 29：全範囲まとめ講義⑪ 30：全範囲まとめ講義⑫			
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	講義で扱った問題の反復解答練習				

## Syllabus

学科名 1年制行政法律科					
授業科目	速修数的処理Ⅱ	授業形態	講義	区分	選択必修
年次	1	時期	前期	担当	本学園教員
授業回数	15	単位	2	実務家	
授業目的 概要	<p><b>【目的】</b> 講義を通して推理力を高めるための合理的思考力・計算力を高める</p> <p><b>【概要】</b> 難易度の高い数的推理の問題の読み取り方、立式方法、計算方法を学ぶ</p>				
到達目標	<p>難易度の高い数的推理の問題を解く事ができる</p> <p>合理的思考力を身に付ける</p> <p>合理的思考力を日常生活で生かす</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：図形の計量①</p> <p>02：図形の計量②</p> <p>03：図形の計量③</p> <p>04：図形の計量習熟確認</p> <p>05：数列</p> <p>06：計算パズル, 数理計画</p> <p>07：数列・計算パズル・数理計画習熟確認</p> <p>08：場合の数①</p> <p>09：場合の数②</p> <p>10：確率①</p> <p>11：確率②</p> <p>12：場合の数・確率習熟確認</p> <p>13：資料解釈①</p> <p>14：資料解釈②</p> <p>15：資料解釈③</p>				
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	講義で扱った問題の反復解答練習				

## Syllabus

学科名 1年制行政法律科					
授業科目	速修数的処理Ⅲ	授業形態	講義	区分	選択必修
年次	1	時期	通年	担当	本学園教員
授業回数	30	単位	2	実務家	
授業目的 概要	<p><b>【目的】</b> 数的処理能力を身に付けることで、広い視野と判断能力の向上を図る</p> <p><b>【概要】</b> 具体的な問題を解き、図や表の使い方をパターン化する</p>				
到達目標	<p>問題文を読み、何が求められているかを把握し、適切な図や表を用いることができる</p> <p>繰り返し問題を解くことでパターン化する</p> <p>問題を効率よく解き、答えを得るまでの時間を短縮する</p>				
授業内容	回 01：論理① 02：論理② 03：論理③ 04：論理④ 05：論理⑤ 06：集合① 07：集合② 08：集合③ 09：集合④ 10：順序位置① 11：順序位置② 12：順序位置③ 13：順序位置④ 14：順序位置⑤ 15：順序位置⑥		回 16：対応① 17：対応② 18：対応③ 19：対応④ 20：対応⑤ 21：勝敗① 22：勝敗② 23：勝敗③ 24：勝敗④ 25：証言① 26：証言② 27：暗号 28：推理手順① 29：推理手順② 30：推理手順③		
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

## Syllabus

学科名 1年制行政法律科					
授業科目	速修数的処理Ⅳ	授業形態	講義	区分	選択必修
年次	1	時期	前期	担当	本学園教員
授業回数	15	単位	2	実務家	
授業目的 概要	<p><b>【目的】</b> 数的処理能力を身に付けることで、広い視野と判断能力の向上を図る</p> <p><b>【概要】</b> 具体的な問題を解き、図や表の使い方をパターン化する</p>				
到達目標	<p>問題文を読み、何が求められているかを把握し、適切な図や表を用いることができる</p> <p>繰り返し問題を解くことでパターン化する</p> <p>問題を効率よく解き、答えを得るまでの時間を短縮する</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：軌跡①</p> <p>02：軌跡②</p> <p>03：軌跡③</p> <p>04：平面①</p> <p>05：平面②</p> <p>06：平面③</p> <p>07：平面④</p> <p>08：平面⑤</p> <p>09：平面⑥</p> <p>10：立体①</p> <p>11：立体②</p> <p>12：立体③</p> <p>13：立体④</p> <p>14：立体⑤</p> <p>15：立体⑥</p>				
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

## Syllabus

学科名 1年制行政法律科					
授業科目	速修数的処理Ⅴ	授業形態	講義	区分	選択必修
年次	1	時期	前期	担当	本学園教員
授業回数	15	単位	2	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 講義を通して合理的思考力及び計算力を高める</p> <p>【概要】 数的推理の立式方法及び計算方法を学ぶ</p>				
到達目標	<p>数的推理の方程式分野を理解する</p> <p>数的推理の整数分野を理解する</p> <p>数的推理の速さ分野を理解する</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：方程式・不等式①</p> <p>02：資料解釈③</p> <p>03：整数・計算パズル②</p> <p>04：割合と比①</p> <p>05：割合と比②</p> <p>06：速さ①</p> <p>07：速さ②</p> <p>08：その他の文章題</p> <p>09：場合の数①</p> <p>10：場合の数②</p> <p>11：確率</p> <p>12：平面図形の計量①</p> <p>13：平面図形の計量②</p> <p>14：平面図形の計量③</p> <p>15：平面図形の計量④</p>				
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

## Syllabus

学科名 1年制行政法律科					
授業科目	速修数的処理Ⅵ	授業形態	講義	区分	選択必修
年次	1	時期	前期	担当	本学園教員
授業回数	15	単位	2	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 講義を通して合理的思考力や資料を読み解く力を養う</p> <p>【概要】 数的推理の立式方法、確率論、統計学を学ぶ</p>				
到達目標	<p>数的推理の割合分野を理解する</p> <p>確率論を理解する</p> <p>統計学を理解する</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：平面図形の計量⑤立体図形の計量</p> <p>02：</p> <p>03：資料解釈④</p> <p>04：資料解釈⑥</p> <p>05：演習授業①</p> <p>06：演習授業②</p> <p>07：演習授業③</p> <p>08：演習授業④</p> <p>09：復習テスト①</p> <p>10：復習テスト②</p> <p>11：復習テスト③</p> <p>12：復習テスト④</p> <p>13：復習テスト⑤</p> <p>14：復習テスト⑥</p> <p>15：まとめテスト</p>				
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

## Syllabus

学科名 1年制行政法律科					
授業科目	速修数的処理Ⅶ	授業形態	講義	区分	選択必修
年次	1	時期	前期	担当	本学園教員
授業回数	15	単位	2	実務家	
授業目的 概要	<p><b>【目的】</b> 与えられた情報を系統的に整理し、柔軟な思考力と空間認知能力を養う。</p> <p><b>【概要】</b> 判断推理の文章題と図形問題を解き解法を学ぶ。</p>				
到達目標	<p>判断推理の文章問題を解くことができる。</p> <p>判断推理の図形問題を解くことができる。</p> <p>解法をしっかりと理解し、応用問題に生かすことができる。</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：論理①</p> <p>02：論理②</p> <p>03：集合①</p> <p>04：集合②</p> <p>05：順序</p> <p>06：対応</p> <p>07：位置・方位</p> <p>08：勝ち負け</p> <p>09：うその発言</p> <p>10：推理・手順</p> <p>11：軌跡</p> <p>12：展開図</p> <p>13：平面図形</p> <p>14：サイコロ</p> <p>15：積木・切断</p>				
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

## Syllabus

学科名 1年制行政法律科					
授業科目	速修数的処理Ⅷ	授業形態	講義	区分	選択必修
年次	1	時期	前期	担当	本学園教員
授業回数	15	単位	2	実務家	
授業目的 概要	<p><b>【目的】</b> 与えられた情報を系統的に整理し、問題解決能力と空間認知能力を養う。</p> <p><b>【概要】</b> 判断推理の文章題と図形問題を解き解法を学ぶ。</p>				
到達目標	<p>判断推理の文章問題を解くことができる。</p> <p>判断推理の図形問題を解くことができる。</p> <p>解法をしっかりと理解し、応用問題に生かすことができる。</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：資料解釈①</p> <p>02：資料解釈②</p> <p>03：資料解釈③</p> <p>04：演習授業①</p> <p>05：演習授業②</p> <p>06：演習授業③</p> <p>07：演習授業④</p> <p>08：演習授業⑤</p> <p>09：演習授業⑥</p> <p>10：演習授業⑦</p> <p>11：演習授業⑧</p> <p>12：演習授業⑨</p> <p>13：演習授業⑩</p> <p>14：演習授業⑪</p> <p>15：演習授業⑫</p>				
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

## Syllabus

学科名 1年制行政法律科					
授業科目	速修文章理解Ⅱ	授業形態	講義	区分	選択必修
年次	1	時期	前期	担当	本学園教員
授業回数	15	単位	2	実務家	
授業目的 概要	<p><b>【目的】</b> 講義を通して長文読解問題の解き方を学び、論理的な思考力を養う。</p> <p><b>【概要】</b> 長文読解問題の解法を学ぶ。</p>				
到達目標	<p>長文読解のための手法を身につける。 現代文の読解ができる。 論理的思考を身に付ける。</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：要旨把握① 02：要旨把握② 03：要旨把握③ 04：要旨把握④ 05：要旨把握⑤ 06：要旨把握⑥ 07：内容合致① 08：内容合致② 09：内容合致③ 10：文章整序① 11：文章整序② 12：文章整序③ 13：空欄補充① 14：空欄補充② 15：空欄補充③</p>				
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	資格の大原 公務員講座 テキスト 文章理解				

## Syllabus

学科名 1年制行政法律科					
授業科目	速修文章理解 I	授業形態	講義	区分	選択必修
年次	1	時期	前期	担当	本学園教員
授業回数	15	単位	2	実務家	
授業目的 概要	<p><b>【目的】</b> 講義を通して長文読解問題の解き方を学び、論理的な思考力を養う。</p> <p><b>【概要】</b> 長文読解問題の解法を学ぶ。</p>				
到達目標	<p>長文読解のための手法を身につける。 現代文の読解ができる。 論理的思考を身に付ける。</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：要旨把握① 02：要旨把握② 03：要旨把握③ 04：要旨把握④ 05：要旨把握⑤ 06：要旨把握⑥ 07：内容合致① 08：内容合致② 09：内容合致③ 10：文章整序① 11：文章整序② 12：文章整序③ 13：空欄補充① 14：空欄補充② 15：空欄補充③</p>				
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

## Syllabus

学科名 1年制行政法律科					
授業科目	一般知識演習 I	授業形態	講義	区分	選択必修
年次	1	時期	前期	担当	本学園教員
授業回数	15	単位	1	実務家	
授業目的 概要	<b>【目的】</b> 一般知識の演習を通して公務員に必要な知識を習得する <b>【概要】</b> 一般知識の演習及び確認テストの実施				
到達目標	社会科学に関する知識を習得する 人文科学に関する知識を習得する 自然科学に関する知識を習得する				
授業内容	回 01：社会科学①政治制度論 02：社会科学②日本国憲法の特徴・基本的人権 総論 03：社会科学③幸福追求権・平等権・社会権・ 自由権 04：社会科学④国会 05：社会科学⑤内閣 06：社会科学⑥現代の市場 07：社会科学⑦国民所得 08：社会科学⑧経済成長と景気循環 09：社会科学⑨財政制度と財政政策 10：社会科学⑩国際経済の動向 11：人文科学①中国王朝史 12：人文科学②中世・近代ヨーロッパ史 13：人文科学③16～19世紀の欧米 14：人文科学④帝国主義・戦後史 15：人文科学⑤中世				
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

## Syllabus

学科名 1年制行政法律科					
授業科目	憲法 I	授業形態	講義	区分	選択必修
年次	1	時期	前期	担当	本学園教員
授業回数	15	単位	2	実務家	
授業目的 概要	<p><b>【目的】</b> 講義を通して憲法における人権保障を理解する。</p> <p><b>【概要】</b> 人権総論から信教の自由までを判例の理解を中心に学習する。</p>				
到達目標	<p>人権保障の考え方を理解する。</p> <p>人権関連判例を理解習得する。</p> <p>法的思考に慣れ、論理的思考力を得る。</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：憲法の意義、特性、尊重擁護義務</p> <p>02：前文、日本国憲法と大日本帝国憲法</p> <p>03：基本原理、外国人の人権</p> <p>04：法人の人権</p> <p>05：公共の福祉、公務員の人権</p> <p>06：在監者の人権</p> <p>07：人権の私人間効力</p> <p>08：プライバシー権、肖像権</p> <p>09：名誉権、自己決定権</p> <p>10：法の下での平等・序論、判例①</p> <p>11：法の下での平等、判例②</p> <p>12：思想・良心の自由</p> <p>13：信教の自由・序論、限界</p> <p>14：政教分離の意義、判例①</p> <p>15：政教分離、判例②</p>				
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	授業の内容をテキストで事前確認しておくこと。				

## Syllabus

学科名 1年制行政法律科					
授業科目	憲法Ⅱ	授業形態	講義	区分	選択必修
年次	1	時期	前期	担当	本学園教員
授業回数	15	単位	2	実務家	
授業目的 概要	<p><b>【目的】</b> 講義を通して憲法における人権保障を理解する。</p> <p><b>【概要】</b> 自由権、社会権を中心に各種判例の理解を中心に学習する。</p>				
到達目標	<p>人権保障の考え方を理解する。</p> <p>人権関連判例を理解習得する。</p> <p>法的思考に慣れ、論理的思考力を得る。</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：表現の自由・意義、制限①</p> <p>02：表現の自由・制限②、知る権利</p> <p>03：報道の自由、取材の自由</p> <p>04：表現の自由、事前抑制、集会の自由</p> <p>05：集団行動の自由、二重の基準論</p> <p>06：学問の自由</p> <p>07：職業選択の自由</p> <p>08：居住移転の自由、財産権・序論</p> <p>09：損失補償、適正手続の保障</p> <p>10：被疑者・被告人の権利</p> <p>11：拷問残虐刑の禁止、事後法の禁止、生存権①</p> <p>12：生存権②、教育を受ける権利</p> <p>13：勤労の権利、労働基本権</p> <p>14：参政権</p> <p>15：受益権</p>				
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	授業の内容をテキストで事前確認しておくこと。				

## Syllabus

学科名 1年制行政法律科					
授業科目	憲法Ⅲ	授業形態	講義	区分	選択必修
年次	1	時期	前期	担当	本学園教員
授業回数	15	単位	2	実務家	
授業目的 概要	<p><b>【目的】</b> 講義を通して憲法における統治の仕組みを理解する。</p> <p><b>【概要】</b> 憲法の基本原理から統治機構を理解できるように学習する。</p>				
到達目標	<p>統治機構の位置付けを理解する。</p> <p>三権分立の意義を理解する。</p> <p>法的思考に慣れ、論理的思考力を得る。</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：国会の地位、組織①</p> <p>02：国会の組織②</p> <p>03：国会議員の地位と権能</p> <p>04：国会の権能</p> <p>05：議院の権能</p> <p>06：議院内閣制、内閣の地位組織</p> <p>07：内閣の権能、内閣総理大臣の権能</p> <p>08：内閣の総辞職、衆議院の解散</p> <p>09：司法権の範囲と限界①</p> <p>10：司法権の範囲と限界②</p> <p>11：裁判所の組織、構成</p> <p>12：司法権の独立、違憲審査権</p> <p>13：財政</p> <p>14：地方自治</p> <p>15：憲法改正、天皇、平和主義</p>				
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	授業の内容をテキストで事前確認しておくこと。				

## Syllabus

学科名 1年制行政法律科					
授業科目	民法 I	授業形態	講義	区分	選択必修
年次	1	時期	前期	担当	本学園教員
授業回数	15	単位	2	実務家	
授業目的 概要	<p><b>【目的】</b> 講義を通して、民法典（総則・物権法）の条文規定及び判例知識を身につける。</p> <p><b>【概要】</b> 主として民法典のうち、総則分野の条文規定及び判例知識を中心に学習する。</p>				
到達目標	<p>1. 民法総則のうち、制限行為能力者制度、法人、意思能力、時効を中心に条文規定や、判例ならびに学説について理解できる。</p> <p>2. 基礎内容を踏まえ事例形式の問題にも対応できる</p> <p>3. 民法総則の学習を通じて、幅広い視点から考える力を身につける。</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：民法典の役割、制限行為能力者制度 1</p> <p>02：制限行為能力者制度 2</p> <p>03：制限行為能力者制度 3</p> <p>04：法人 1</p> <p>05：法人 2</p> <p>06：法律行為 1</p> <p>07：法律行為 2</p> <p>08：法律行為 3</p> <p>09：代理制度 1</p> <p>10：代理制度 2</p> <p>11：代理制度 3</p> <p>12：無効取消・条件期限</p> <p>13：時効制度 1</p> <p>14：時効制度 2</p> <p>15：時効制度 3</p>				
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	授業の内容をテキストで事前確認しておくこと。				

## Syllabus

学科名 1年制行政法律科					
授業科目	民法Ⅱ	授業形態	講義	区分	選択必修
年次	1	時期	前期	担当	本学園教員
授業回数	15	単位	2	実務家	
授業目的 概要	<p><b>【目的】</b> 講義を通して、民法典（総則・物権法）の条文規定及び判例知識を身につける。</p> <p><b>【概要】</b> 主として民法典のうち、物権法分野の条文規定及び判例知識を中心に学習する。</p>				
到達目標	<p>1. 物権法のうち、物権総論、各物権規定に関する条文規定や判例並びに学説について理解する。</p> <p>2. 基礎内容を踏まえ事例形式の問題にも対応できる</p> <p>3. 物権法の学習を通じて、幅広い視点から考える力を身につける。</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：物権制度全般</p> <p>02：不動産物件変動 1</p> <p>03：不動産物権変動 2</p> <p>04：動産物権変動 1</p> <p>05：動産物権変動 2</p> <p>06：占有権 1</p> <p>07：占有権 2</p> <p>08：所有権</p> <p>09：用益物権</p> <p>10：担保物権総説</p> <p>11：留置権</p> <p>12：先取特権・質権</p> <p>13：抵当権 1</p> <p>14：抵当権 2</p> <p>15：抵当権 3</p>				
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	授業の内容をテキストで事前確認しておくこと。				

## Syllabus

学科名 1年制行政法律科					
授業科目	民法Ⅲ	授業形態	講義	区分	選択必修
年次	1	時期	後期	担当	本学園教員
授業回数	15	単位	2	実務家	
授業目的 概要	<p><b>【目的】</b> 講義を通して、民法典（債権法・家族法）の条文規定及び判例知識を身につける。</p> <p><b>【概要】</b> 主として民法典のうち、債権法・家族法の条文規定及び判例知識を中心に学習する。</p>				
到達目標	<p>1. 民法（債権法）の債権総論及び各論を中心に、条文知識や判例並びに学説を理解する。</p> <p>2. 債権法につき、法体系や条文知識、判例、学説などを理解する。</p> <p>3. 債権法、家族法の学習を通じて幅広い視点にたつて考える力を身につける。</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：債権の目的①</p> <p>02：債権の目的②</p> <p>03：債務不履行①</p> <p>04：債務不履行②</p> <p>05：債務不履行③</p> <p>06：債務不履行④</p> <p>07：債権者代位権</p> <p>08：債権者取消権</p> <p>09：多数当事者の債権債務関係①</p> <p>10：多数当事者の債権債務関係②</p> <p>11：多数当事者の債権債務関係③</p> <p>12：債権譲渡①</p> <p>13：債権譲渡②</p> <p>14：債権の消滅①</p> <p>15：債権の消滅②</p>				
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	授業の内容をテキストで事前確認しておくこと。				

## Syllabus

学科名 1年制行政法律科					
授業科目	行政法 I	授業形態	講義	区分	選択必修
年次	1	時期	前期	担当	本学園教員
授業回数	15	単位	2	実務家	
授業目的 概要	<p><b>【目的】</b> 講義を通じて、行政作用法の条文規定及び判例知識を身に付ける。</p> <p><b>【概要】</b> 行政作用法のうち、行政行為、行政強制、行政罰、行政立法を中心に学習する。</p>				
到達目標	<p>行政行為のうち、行政行為の分類、瑕疵、取消撤回、裁量、附款を中心に条文規定や判例並びに学説について理解する。</p> <p>行政強制、行政罰の条文規定や判例並びに学説について理解する。</p> <p>行政契約、行政計画、行政立法の条文規定や判例並びに学説について理解する。</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：行政法とは</p> <p>02：行政行為の分類①</p> <p>03：行政行為の分類②</p> <p>04：行政行為の効力</p> <p>05：行政行為の瑕疵</p> <p>06：行政行為の裁量</p> <p>07：行政行為の取消撤回</p> <p>08：行政行為の附款</p> <p>09：行政強制①</p> <p>10：行政強制②</p> <p>11：行政罰</p> <p>12：行政契約/行政計画</p> <p>13：行政立法①</p> <p>14：行政立法②</p> <p>15：行政立法③</p>				
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

## Syllabus

学科名 1年制行政法律科					
授業科目	行政法Ⅱ	授業形態	講義	区分	選択必修
年次	1	時期	前期	担当	本学園教員
授業回数	15	単位	2	実務家	
授業目的 概要	<p><b>【目的】</b> 講義を通じて、行政作用法及び行政救済法の条文規定及び判例知識を身に付ける。</p> <p><b>【概要】</b> 行政手続法、情報公開法、行政不服審査法を中心に学習する。</p>				
到達目標	<p>行政作用法のうち、行政手続法及び公物法の条文規定や判例並びに学説について理解する。</p> <p>行政作用法のうち、情報公開法の条文規定や判例並びに学説について理解する。</p> <p>行政救済法のうち、行政不服審査法の条文規定や判例並びに学説について理解する。</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：行政手続法（申請に対する処分）</p> <p>02：行政手続法（不利益処分）</p> <p>03：行政手続法（聴聞）</p> <p>04：行政手続法（行政指導/届出）</p> <p>05：行政手続法（命令等）</p> <p>06：情報公開法（開示手続）</p> <p>07：情報公開法（開示請求に対する措置）</p> <p>08：行政不服審査法（総則）</p> <p>09：行政不服審査法（審査請求）</p> <p>10：行政不服審査法（審理手続）</p> <p>11：行政不服審査法（裁決/決定）</p> <p>12：行政不服審査法（教示等）</p> <p>13：公物法</p> <p>14：法律による行政の原理</p> <p>15：行政上の法律関係</p>				
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

## Syllabus

学科名 1年制行政法律科					
授業科目	行政法Ⅲ	授業形態	講義	区分	選択必修
年次	1	時期	前期	担当	本学園教員
授業回数	15	単位	2	実務家	
授業目的 概要	<p><b>【目的】</b> 講義を通じて、行政救済法及び行政組織法の条文規定及び判例知識を身に付ける。</p> <p><b>【概要】</b> 行政事件訴訟法、国家賠償法、国家行政組織法、地方自治法を中心に学習する。</p>				
到達目標	<p>行政救済法のうち、行政事件訴訟法の条文規定や判例並びに学説について理解する。</p> <p>行政救済法のうち、国家賠償法の条文規定や判例並びに学説について理解する。</p> <p>行政組織法のうち、国家行政組織法及び地方自治法の条文規定や判例並びに学説について理解する。</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：行政事件訴訟法（総則）</p> <p>02：行政事件訴訟法（取消訴訟）</p> <p>03：行政事件訴訟法（処分性）</p> <p>04：行政事件訴訟法（原告適格）</p> <p>05：行政事件訴訟法（審理等）</p> <p>06：行政事件訴訟法（その他の抗告訴訟）</p> <p>07：行政事件訴訟法（当事者訴訟等）</p> <p>08：国家賠償法（1条）</p> <p>09：国家賠償法（1条判例）</p> <p>10：国家賠償法（2条）</p> <p>11：損失補償</p> <p>12：国家行政組織法</p> <p>13：権限の委任と代理</p> <p>14：地方自治法（事務）</p> <p>15：地方自治法（住民訴訟）</p>				
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

## Syllabus

学科名 1年制行政法律科					
授業科目	ミクロ経済学 I	授業形態	講義	区分	選択必修
年次	1	時期	通年	担当	本学園教員
授業回数	30	単位	2	実務家	
授業目的 概要	<p><b>【目的】</b> 講義を通して不完全競争市場の特徴・リスクとゲーム理論・国際貿易を学ぶ。</p> <p><b>【概要】</b> 主としてミクロ経済学のうち、不完全競争市場を中心に学習する。</p>				
到達目標	<p>独占企業の行動が理解できること</p> <p>ゲーム理論の基礎を理解すること</p> <p>パレート基準の理解</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：市場の均衡</p> <p>02：市場均衡の安定性</p> <p>03：価格弾力性</p> <p>04：家計の制約</p> <p>05：最適消費点の導出</p> <p>06：所得変化と価格変化</p> <p>07：さまざまな無差別曲線</p> <p>08：企業の利潤最大化の理解</p> <p>09：費用の分類</p> <p>10：損益分岐点と操業停止点</p> <p>11：生産要素と利潤最大化</p> <p>12：費用最小化と利潤最大化</p> <p>13：長期と短期の区別</p> <p>14：計算問題演習</p> <p>15：総まとめ試験</p>	<p>回</p> <p>16：独占市場</p> <p>17：複占市場</p> <p>18：寡占市場</p> <p>19：ゲーム理論の基礎</p> <p>20：リスクの経済学</p> <p>21：パレート基準の理解</p> <p>22：公共財</p> <p>23：外部性</p> <p>24：自然独占</p> <p>25：貿易政策</p> <p>26：比較生産費説</p> <p>27：ヘクシャー・オリーンモデル</p> <p>28：マクドゥーガルモデル</p> <p>29：計算問題演習</p> <p>30：総まとめ試験</p>			
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	事前に学習する節のグラフの特徴を把握すること				

## Syllabus

学科名 1年制行政法律科					
授業科目	ミクロ経済学Ⅱ	授業形態	講義	区分	選択必修
年次	1	時期	後期	担当	本学園教員
授業回数	15	単位	2	実務家	
授業目的 概要	<p><b>【目的】</b> 講義を通して市場メカニズム・家計の行動（消費論）・企業の行動（生産論）を学ぶ。</p> <p><b>【概要】</b> 主としてミクロ経済学のうち、完全競争市場を中心に学習する。</p>				
到達目標	<p>市場メカニズムが理解できること 家計の効用最大化の計算問題の理解 企業の利潤最大化の計算問題の理解</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：市場の均衡と余剰分析 02：市場均衡の安定性（ワルラス・マーシャル・クモの巣） 03：課税と税負担 04：家計の制約と効用最大化 05：最適消費点の導出（加重限界効用均等の法則） 06：全部効果、代替効果、所得効果 07：消費と貯蓄 08：企業の利潤最大化計算問題 09：費用関数（グラフでの図解） 10：サンクコストの有無と最適生産量 11：限界生産力と平均生産力 12：コブダグラス型生産関数の性質 13：長期と短期の区別（グラフの理解） 14：計算問題演習 15：総まとめ試験</p>				
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	事前に学習する節のグラフの特徴を把握すること				

## Syllabus

学科名 1年制行政法律科					
授業科目	マクロ経済学 I	授業形態	講義	区分	選択必修
年次	1	時期	通年	担当	本学園教員
授業回数	30	単位	2	実務家	
授業目的 概要	<p><b>【目的】</b> 講義を通して経済成長理論、AD-AS 分析、インフレ総供給曲線・インフレ総需要など、マクロ経済学の知識を学ぶ。</p> <p><b>【概要】</b> 主としてマクロ経済学のうち、労働市場を中心に学習する。</p>				
到達目標	<p>経済成長理論が理解できること</p> <p>AD-AS モデルが理解できること</p> <p>財市場・貨幣市場・労働市場の均衡を理解できること</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：国民経済計算</p> <p>02：国際収支統計の理解</p> <p>03：物価指数</p> <p>04：45度線分析</p> <p>05：乗数効果</p> <p>06：乗数モデル（政府部門を含むモデル）</p> <p>07：IS 曲線</p> <p>08：LM 曲線</p> <p>09：利子弾力性</p> <p>10：金融政策</p> <p>11：財政政策</p> <p>12：政策効果</p> <p>13：ポリシーミックス</p> <p>14：計算問題演習</p> <p>15：総まとめ試験</p>	<p>回</p> <p>16：為替レートの理解</p> <p>17：マンデルフレミングモデル</p> <p>18：消費理論</p> <p>19：投資理論</p> <p>20：成長会計</p> <p>21：新古典派成長理論</p> <p>22：労働市場</p> <p>23：UV 曲線</p> <p>24：AD-AS モデル</p> <p>25：フィリップス曲線</p> <p>26：インフレ需要曲線</p> <p>27：インフレ供給曲線</p> <p>28：経済学派の整理</p> <p>29：計算問題演習</p> <p>30：総まとめ試験</p>			
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	事前に学習する節のグラフの特徴を把握すること				

## Syllabus

学科名 1年制行政法律科					
授業科目	マクロ経済学Ⅱ	授業形態	講義	区分	選択必修
年次	1	時期	後期	担当	本学園教員
授業回数	15	単位	2	実務家	
授業目的 概要	<p><b>【目的】</b> 講義を通して国民経済計算や45度線分析、IS-LM分析を学び、マクロ経済学の知識を学ぶ。</p> <p><b>【概要】</b> 主としてマクロ経済学のうち、財市場、貨幣市場を中心に学習する。</p>				
到達目標	<p>均衡国民所得の計算ができること</p> <p>IS-LMモデルが理解できること</p> <p>財市場・貨幣市場の均衡を理解できること</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：国民経済計算と帰属計算</p> <p>02：国際収支統計の理解とISバランスアプローチ</p> <p>03：産業連関表</p> <p>04：45度線分析の計算問題</p> <p>05：インフレギャップとデフレギャップ</p> <p>06：乗数モデル（海外部門を含むモデル）</p> <p>07：IS曲線計算問題</p> <p>08：LM曲線計算問題</p> <p>09：所得弾力性</p> <p>10：貨幣乗数</p> <p>11：クラウディングアウト</p> <p>12：流動性のわな</p> <p>13：ポリシーミックス</p> <p>14：計算問題演習</p> <p>15：総まとめ試験</p>				
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	事前に学習する節のグラフの特徴を把握すること				

## Syllabus

学科名 1年制行政法律科					
授業科目	会計学	授業形態	講義	区分	選択必修
年次	1	時期	後期	担当	本学園教員
授業回数	15	単位	2	実務家	
授業目的 概要	<p><b>【目的】</b> 講義を通して、企業会計の役割を学び背景にある会計理論を学習する。</p> <p><b>【概要】</b> 企業会計の基礎、会計基準、会計理論を体系的に学習する。</p>				
到達目標	<p>1. 簿記の基本を学び、財務諸表の役割を理解する。</p> <p>2. 企業取引における会計処理手続きを理解する。</p> <p>3. 企業会計原則を中心とする制度会計の役割を理解する。</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：企業会計の基礎</p> <p>02：一般原則①</p> <p>03：一般原則②</p> <p>04：損益会計①</p> <p>05：損益会計②</p> <p>06：資産会計①</p> <p>07：資産会計②</p> <p>08：資産会計③</p> <p>09：負債会計</p> <p>10：純資産会計</p> <p>11：財務諸表</p> <p>12：財務諸表分析</p> <p>13：特殊会計①</p> <p>14：特殊会計②</p> <p>15：特殊会計③</p>				
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

## Syllabus

学科名 1年制行政法律科					
授業科目	政治学	授業形態	講義	区分	選択必修
年次	1	時期	後期	担当	本学園教員
授業回数	15	単位	2	実務家	
授業目的 概要	<p><b>【目的】</b> 講義を通して、政治システムの基礎原理を学ぶ。</p> <p><b>【概要】</b> 政治の基本原理を学ぶ。</p>				
到達目標	<p>現代政治の基礎を理解する。 政治思想の基礎を理解する。 政治体制を理解する。</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：政治学の基礎概念① 02：政治学の基礎概念② 03：政治学の基礎概念③ 04：政治学の基礎概念④ 05：現代社会と政治① 06：現代社会と政治② 07：政治過程論① 08：政治過程論① 09：政治過程論② 10：政治過程論③ 11：政治過程論④ 12：政治制度論① 13：政治制度論② 14：政治思想と政治理論 15：戦後政治政治史</p>				
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

## Syllabus

学科名 1年制行政法律科					
授業科目	財政学	授業形態	講義	区分	選択必修
年次	1	時期	後期	担当	本学園教員
授業回数	15	単位	2	実務家	
授業目的 概要	<p><b>【目的】</b> 政府の経済活動とその機能を学習し、公務員として働くうえでの基礎理論を身につける</p> <p><b>【概要】</b> 財政の機能、予算制度、租税、公債、財政政策を学習する</p>				
到達目標	<p>財政の三大機能・財政制度を理解すること</p> <p>国家予算の概要と近年の財政事情の把握</p> <p>財政政策の有効性について整理できること</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01: 財政の基礎 (財政の三大機能・財政学説史)</p> <p>02: 財政制度 (予算原則・予算の種類)</p> <p>03: 財政制度 (予算の内容・予算過程)</p> <p>04: 日本の財政事情</p> <p>05: 租税の基礎概念</p> <p>06: 財政投融资</p> <p>07: 負の所得税</p> <p>08: 公債の基礎概念</p> <p>09: 公債理論</p> <p>10: 日本財政の歴史</p> <p>11: 裁量的財政政策</p> <p>12: 地方財政</p> <p>13: 地方財政の分析指標</p> <p>14: 財政事情の国際比較</p> <p>15: 総まとめ試験</p>				
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

## Syllabus

学科名 1年制行政法律科					
授業科目	コミュニケーションスキル I	授業形態	講義	区分	選択必修
年次	1	時期	通年	担当	本学園教員及び実務家担当者
授業回数	30	単位	1	実務家	窓口業務経験者
授業目的 概要	<p><b>【目的】</b> 面接に必要な基本的な力を身につける。</p> <p><b>【概要】</b> プレゼンやグループディスカッションを使って面接の基礎力を身につける。</p>				
到達目標	<p>面接力の向上。 自己分析ができる。 プレゼン力の向上</p>				
授業内容	回 01：プレゼンの重要性について 02：印象良く話すことについて 03：傾聴力について 04：敬語 05：小さな取り組み 06：プレゼンレベルアップ① 07：プレゼンレベルアップ② 08：小さな取り組み 09：笑顔 10：明るい声の練習 11：自己分析とは 12：自己PRのポイント 13：面接試験とは 14：身だしなみ 15：お辞儀	回 16：履歴書作成① 17：履歴書作成② 18：自己分析① 19：自己分析② 20：自己分析③ 21：履歴書完成 22：YG 検査 23：職場研究 24：集団面接 25：録画面接 26：集団面接 27：集団面接 28：入退室レクチャー 29：パッションネット面接① 30：パッションネット面接②			
テキスト 参考文献	プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内容	特になし				

## Syllabus

学科名 1年制行政法律科					
授業科目	コミュニケーションスキル区	授業形態	講義	区分	選択必修
年次	1	時期	前期	担当	本学園教員
授業回数	15	単位	1	実務家	
授業目的 概要	<p><b>【目的】</b> 公務員試験に向けて面接・プレゼン対策を行い実践的な力を身につける</p> <p><b>【概要】</b> 本番を想定した面接・プレゼン対策を実施する</p>				
到達目標	<p>公務員試験に対応できる面接力を身につける</p> <p>公務員試験に対応できるプレゼン力を身につける</p> <p>公務員試験にふさわしい品格を身につける</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：公務員試験概要説明</p> <p>02：自己分析</p> <p>03：自己PR作成</p> <p>04：テーマ別面接 1-1</p> <p>05：テーマ別面接 1-2</p> <p>06：テーマ別面接 1-3</p> <p>07：テーマ別面接 1-4</p> <p>08：自己PR面接①</p> <p>09：自己PR面接②</p> <p>10：テーマ別面接 1-5</p> <p>11：テーマ別面接 1-6</p> <p>12：コンピテンシー面接①</p> <p>13：コンピテンシー面接②</p> <p>14：コンピテンシー面接③</p> <p>15：コンピテンシー面接④</p>				
テキスト 参考文献	プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	特になし				

## Syllabus

学科名 1年制行政法律科					
授業科目	コミュニケーションスキルⅩ	授業形態	講義	区分	選択必修
年次	1	時期	前期	担当	本学園教員
授業回数	15	単位	1	実務家	
授業目的 概要	<p><b>【目的】</b> 短期間で面接試験を突破する力を身につける</p> <p><b>【概要】</b> 集団面接の実施やプレゼン作成・発表の機会を作る</p>				
到達目標	<p>エントリーシートの記入ができる。</p> <p>効果的なプレゼンを作り、発表することができる。</p> <p>面接で自分をしっかりアピールできる。</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：封筒・メールの書き方、志望動機作成</p> <p>02：テーマ別面接 2-1</p> <p>03：テーマ別面接 2-2</p> <p>04：テーマ別面接 2-3</p> <p>05：テーマ別面接 2-4</p> <p>06：自治体研究①</p> <p>07：自治体研究②</p> <p>08：プレゼンテーション①</p> <p>09：鏡前面接①</p> <p>10：テーマ別面接 2-5</p> <p>11：テーマ別面接 2-6</p> <p>12：プレゼンテーション②</p> <p>13：プレゼンテーション③</p> <p>14：鏡前面接②</p> <p>15：鏡前面接③</p>				
テキスト 参考文献	プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	特になし				

## Syllabus

学科名 1年制行政法律科					
授業科目	コミュニケーションスキルXI	授業形態	講義	区分	選択必修
年次	1	時期	前期	担当	本学園教員
授業回数	15	単位	1	実務家	
授業目的 概要	<p><b>【目的】</b> 公務員に求められるコミュニケーション能力及び文書作成能力を育む。</p> <p><b>【概要】</b> 面接練習や作文練習を通じてコミュニケーション能力や文書作成能力を養う。</p>				
到達目標	<p>基礎的なコミュニケーション能力を身につける。</p> <p>基礎的な文書作成能力を身につける。</p> <p>応用的なコミュニケーション能力及び文書作成能力を身につける。</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：鏡前面接④</p> <p>02：鏡前面接⑤</p> <p>03：鏡前面接⑥</p> <p>04：パッシュネット面接①</p> <p>05：パッシュネット面接②</p> <p>06：パッシュネット面接③</p> <p>07：集団面接対策①</p> <p>08：集団面接対策②</p> <p>09：集団面接対策③</p> <p>10：集団面接対策④</p> <p>11：追及面接対策①</p> <p>12：追及面接対策②</p> <p>13：ランダム面接①</p> <p>14：ランダム面接②</p> <p>15：ランダム面接③</p>				
テキスト 参考文献	プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	特に無し				

## Syllabus

学科名 1年制行政法律科					
授業科目	速修文章表現能力Ⅲ	授業形態	講義	区分	選択必修
年次	1	時期	前期	担当	本学園教員
授業回数	15	単位	1	実務家	
授業目的 概要	<p><b>【目的】</b> 講義を通して、作文の書き方の基礎を学ぶ。</p> <p><b>【概要】</b> 作文の基礎を学ぶ。</p>				
到達目標	<p>作文の構成や原稿用紙の使い方について理解する。 まとめ表を活用し作文を書く際の素地を完成させる。 作文の書き方について理解する。</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：作文の方針・構成・原稿用紙の使い方の説明</p> <p>02：自身の経験を問う作文①</p> <p>03：作文を早く書くための思考法の説明</p> <p>04：職能観を問う作文①</p> <p>05：自身の経験まとめ表の作成</p> <p>06：自身の経験を問う作文②</p> <p>07：時事問題小論文の対策準備</p> <p>08：時事問題小論文①</p> <p>09：国家対策作文①</p> <p>10：時事問題小論文②</p> <p>11：国家対策作文②</p> <p>12：国家対策作文③</p> <p>13：自身の経験を問う作文③</p> <p>14：職能観を問う作文②</p> <p>15：職能観を問う作文③</p>				
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	事前課題がある場合には、準備しておくこと				

## Syllabus

学科名 1年制行政法律科					
授業科目	速修文章表現能力 I	授業形態	講義	区分	選択必修
年次	1	時期	後期	担当	本学園教員
授業回数	15	単位	1	実務家	
授業目的 概要	<p><b>【目的】</b> 文章を通じた自己表現および論理的説明力を養う</p> <p><b>【概要】</b> 基本的な文章表現方法を学び、自己の経験および職業観を分析し、表現する</p>				
到達目標	<p>与えられたテーマに沿って自己の経験を文章表現できる</p> <p>自己の職業観について文章表現できる</p> <p>書いた文章をスピーチ用に編集し人前でスピーチできる</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01: 文章表現ルール確認と自己の文章作成レベルチェック</p> <p>02: 添削ポイントと経験系課題まとめ表①作成</p> <p>03: 経験系課題まとめ表①を使った文章作成①</p> <p>04: 経験系課題まとめ表①を使った文章作成②</p> <p>05: 職業観課題まとめ表作成</p> <p>06: 職業観課題まとめ表作成を使った文章作成①</p> <p>07: 職業観課題まとめ表作成を使った文章作成②</p> <p>08: 経験系課題まとめ表②作成</p> <p>09: 経験系課題まとめ表②を使った文章作成</p> <p>10: スピーチのポイント</p> <p>11: クラススピーチ①</p> <p>12: クラススピーチ②</p> <p>13: 制限時間のある文章作成</p> <p>14: クラススピーチ③</p> <p>15: クラススピーチ④</p>				
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	講義内で作成するまとめ表の把握				

## Syllabus

学科名 1年制行政法律科					
授業科目	共同学習 I	授業形態	演習	区分	選択必修
年次	1	時期	前期	担当	本学園教員
授業回数	15	単位	1	実務家	
授業目的 概要	<p><b>【目的】</b> 共同学習を通して、学習内容の相互理解を深めると同時にコミュニケーションスキルを磨く</p> <p><b>【概要】</b> 共同学習と確認試験の実施</p>				
到達目標	<p>数的推理の応用的問題を解くことができる</p> <p>判断推理の応用的問題を解くことができる</p> <p>コミュニケーションスキルを向上させる</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：論理・対応①</p> <p>02：場合の数①</p> <p>03：論理・対応②</p> <p>04：方程式・過不足算</p> <p>05：論理・対応③</p> <p>06：整数・不定方程式</p> <p>07：順序・勝敗①</p> <p>08：平均算・年齢算</p> <p>09：順序・勝敗②</p> <p>10：余りの問題</p> <p>11：順序・勝敗③</p> <p>12：場合の数②</p> <p>13：うそつき・位置①</p> <p>14：暦・方陣・記数法</p> <p>15：総まとめ</p>				
テキスト 参考文献	プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

## Syllabus

学科名 1年制行政法律科					
授業科目	公務員総合演習Ⅳ	授業形態	演習	区分	選択必修
年次	1	時期	前期	担当	本学園教員
授業回数	90	単位	1	実務家	
授業目的 概要	<p><b>【目的】</b>            実戦的な問題演習を通して、文章読解力・資料解析力・問題解決力を培い、さらに一般知識を確認することにより、公務員として十分な能力を有することを目的とする。</p> <p><b>【概要】</b>            過去問題や類題に取り組むことで、公務員に求められる能力を養う。</p>				
到達目標	文章読解力・資料解析力・問題解決力を身につける。 公務員として必要な一般知識を身につける。 高度な事務処理能力を身につける。				
授業内容	回 01：模擬試験① 02：模擬試験② 03：模擬試験③ 04：模擬試験④ 05：模擬試験⑤ 06：模擬試験⑥ 07：模擬試験⑦ 08：模擬試験⑧ 09：模擬試験⑨ 10：模擬試験⑩ 11：模擬試験⑪ 12：模擬試験⑫ 13：模擬試験⑬ 14：模擬試験⑭ 15：模擬試験⑮		回 16：模擬試験⑯ 17：模擬試験⑰ 18：模擬試験⑱ 19：模擬試験⑲ 20：模擬試験⑳ 21：模擬試験㉑ 22：模擬試験㉒ 23：模擬試験㉓ 24：模擬試験㉔ 25：模擬試験㉕ 26：模擬試験㉖ 27：模擬試験㉗ 28：模擬試験㉘ 29：模擬試験㉙ 30：模擬試験㉚		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	特に無し				

## Syllabus

学科名 1年制行政法律科					
授業科目	公務員総合演習Ⅳ	授業形態	演習	区分	選択必修
年次	1	時期	前期	担当	本学園教員
授業回数	90	単位	1	実務家	
授業目的 概要	<p><b>【目的】</b> 実戦的な問題演習を通して、文章読解力・資料解析力・問題解決力を培い、さらに一般知識を確認することにより、公務員として十分な能力を有することを目的とする。</p> <p><b>【概要】</b> 過去問題や類題に取り組むことで、公務員に求められる能力を養う。</p>				
到達目標	<p>文章読解力・資料解析力・問題解決力を身につける。 公務員として必要な一般知識を身につける。 高度な事務処理能力を身につける。</p>				
授業内容	回 31：模擬試験 31 32：模擬試験 32 33：模擬試験 33 34：模擬試験 34 35：模擬試験 35 36：模擬試験 36 37：模擬試験 37 38：模擬試験 38 39：模擬試験 39 40：模擬試験 40 41：模擬試験 41 42：模擬試験 42 43：模擬試験 43 44：模擬試験 44 45：模擬試験 45	回 46：模擬試験 46 47：模擬試験 47 48：模擬試験 48 49：模擬試験 49 50：模擬試験 50 51：模擬試験 51 52：模擬試験 52 53：模擬試験 53 54：模擬試験 54 55：模擬試験 55 56：模擬試験 56 57：模擬試験 57 58：模擬試験 58 59：模擬試験 59 60：模擬試験 60			
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	特に無し				

## Syllabus

学科名 1年制行政法律科					
授業科目	公務員総合演習Ⅳ	授業形態	演習	区分	選択必修
年次	1	時期	前期	担当	本学園教員
授業回数	90	単位	1	実務家	
授業目的 概要	<p><b>【目的】</b> 実戦的な問題演習を通して、文章読解力・資料解析力・問題解決力を培い、さらに一般知識を確認することにより、公務員として十分な能力を有することを目的とする。</p> <p><b>【概要】</b> 過去問題や類題に取り組むことで、公務員に求められる能力を養う。</p>				
到達目標	<p>文章読解力・資料解析力・問題解決力を身につける。 公務員として必要な一般知識を身につける。 高度な事務処理能力を身につける。</p>				
授業内容	回 61：模擬試験 61 62：模擬試験 62 63：模擬試験 63 64：模擬試験 64 65：模擬試験 65 66：模擬試験 66 67：模擬試験 67 68：模擬試験 68 69：模擬試験 69 70：模擬試験 70 71：模擬試験 71 72：模擬試験 72 73：模擬試験 73 74：模擬試験 74 75：模擬試験 75	回 76：模擬試験 76 77：模擬試験 77 78：模擬試験 78 79：模擬試験 79 80：模擬試験 80 81：模擬試験 81 82：模擬試験 82 83：模擬試験 83 84：模擬試験 84 85：模擬試験 85 86：模擬試験 86 87：模擬試験 87 88：模擬試験 88 89：模擬試験 89 90：総まとめ			
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	特に無し				

## Syllabus

学科名 1年制行政法律科					
授業科目	総合学習 I	授業形態	演習	区分	選択必修
年次	1	時期	後期	担当	本学園教員
授業回数	15	単位	1	実務家	
授業目的 概要	<p><b>【目的】</b> 講義を通して、社会人として必要な基礎力を養い、併せて公務員に関する知識を学習する</p> <p><b>【概要】</b> 社会人の基礎力を体系的に学び、公務員の知識を多角的に学ぶ</p>				
到達目標	<p>自己管理能力、協調行動力、IT 活用力の重要性を理解する。 自己管理能力検定・協調行動力検定・IT 活用力検定に合格する。 求められる公務員像や公務員の仕事内容を理解する。</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：クレペリン</p> <p>02：自己管理能力①</p> <p>03：一般知識科目について</p> <p>04：協調行動力①</p> <p>05：IT 活用力②・職場能力検定レポート</p> <p>06：自己管理能力②</p> <p>07：自己管理能力③</p> <p>08：協調行動力②</p> <p>09：協調行動力③</p> <p>10：IT 活用力②</p> <p>11：IT 活用力③</p> <p>12：公務員について</p> <p>13：公務員試験について①</p> <p>14：公務員試験について②</p> <p>15：作文</p>				
テキスト 参考文献	プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	特になし				

## Syllabus

学科名 1年制行政法律科					
授業科目	総合学習Ⅱ	授業形態	講義	区分	選択必修
年次	1	時期	後期	担当	本学園教員
授業回数	15	単位	1	実務家	
授業目的 概要	<p><b>【目的】</b> 講義を通して、社会人として必要な知識を身に付け、基礎力を養う</p> <p><b>【概要】</b> 社会人の知識を多角的に学び、基礎力を養成する</p>				
到達目標	<p>プレゼンテーションの作成・発表を通し、プレゼンテーション能力を向上させる</p> <p>F P ・心理学に関する基礎知識を学ぶ</p> <p>クラスレクリエーションを通して、より良い人間関係構築を学ぶ</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01 : プレゼンテーション①</p> <p>02 : プレゼンテーション②</p> <p>03 : プレゼンテーション③</p> <p>04 : プレゼンテーション④</p> <p>05 : プレゼンテーション⑤</p> <p>06 : クラスレクリエーション①</p> <p>07 : クラスレクリエーション②</p> <p>08 : 心理学①</p> <p>09 : 心理学②</p> <p>10 : 心理学③</p> <p>11 : F P ①</p> <p>12 : F P ②</p> <p>13 : F P ③</p> <p>14 : F P ④</p> <p>15 : F P ⑤</p>				
テキスト 参考文献	プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

## Syllabus

学科名 1年制行政法律科					
授業科目	簿記3級基礎	授業形態	講義	区分	選択必修
年次	1	時期	後期	担当	本学園教員及び実務家担当者
授業回数	15	単位	2	実務家	経理経験者
授業目的 概要	<p><b>【目的】</b> 簿記会計の基礎を学び、会計帳簿や財務諸表を通してビジネスの諸活動を理解する。</p> <p><b>【概要】</b> 小規模企業における会計帳簿や財務諸表を通してビジネスの諸活動についての学習を行う。</p>				
到達目標	<p>1. 簿記一巡の流れを理解している。</p> <p>2. 基礎的な会計取引について、適切な会計処理が行える。</p> <p>3. 小規模企業における財務諸表の作成ができる。</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：簿記の目的</p> <p>02：簿記一巡の流れ①</p> <p>03：簿記一巡の流れ②</p> <p>04：試算表</p> <p>05：商品売買①</p> <p>06：商品売買②</p> <p>07：現金預金①</p> <p>08：現金預金②</p> <p>09：手形取引①</p> <p>10：手形取引②</p> <p>11：その他債権①</p> <p>12：その他債権②</p> <p>13：有形固定資産</p> <p>14：総まとめ①</p> <p>15：総まとめ②</p>				
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	指定された範囲の問題集				

## Syllabus

学科名 1 年制行政法律科					
授業科目	PC 実習基礎Ⅲ	授業形態	実習	区分	選択必修
年次	1	時期	後期	担当	本学園教員
授業回数	15	単位	1	実務家	
授業目的 概要	<p><b>【目的】</b> ビジネスの場で求められる Microsoft Word の基本操作から文字入力、ビジネス文書の作成知識を学ぶ。</p> <p><b>【概要】</b> Microsoft Word の機能や文書の作成に関する基礎的な知識を学ぶ。</p>				
到達目標	<p>1. ビジネス文書の知識を習得し、Word の基本操作及び罫線を利用した表組みができる。</p> <p>2. 図表などで情報を表現し、状況にあったビジネス文書を作成できる。</p> <p>3. 職場での報告書を作成できる。</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01 : 文書の作成と管理①</p> <p>02 : 文書の作成と管理②</p> <p>03 : 文書の作成と管理③</p> <p>04 : ビジネス文書の作成①</p> <p>05 : ビジネス文書の作成②</p> <p>06 : ビジネス文書の作成③</p> <p>07 : 報告書の作成①</p> <p>08 : 報告書の作成②</p> <p>09 : 表、画像、図形①</p> <p>10 : 表、画像、図形②</p> <p>11 : 図形を使った文書の作成</p> <p>12 : 差し込み文書</p> <p>13 : ビジネス文書の作成 1</p> <p>14 : ビジネス文書の作成 2</p> <p>15 : ビジネス文書の作成 3</p>				
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	該当ページの確認				

## Syllabus

学科名 1年制行政法律科					
授業科目	PC 実習基礎Ⅳ	授業形態	実習	区分	選択必修
年次	1	時期	後期	担当	本学園教員
授業回数	15	単位	1	実務家	
授業目的 概要	<p><b>【目的】</b> ビジネスの場で求められる Microsoft Excel の基本操作から表計算、関数の活用、グラフの作成、データベースの活用知識を学ぶ。</p> <p><b>【概要】</b> Microsoft Excel の機能や表計算に関する基礎的な知識を学ぶ。</p>				
到達目標	<p>1. データ入力と計算式の作成及び表の作成、編集を行うことができる。</p> <p>2. グラフの作成と編集ができ、基本的な関数を利用することができる。</p> <p>3. 関数を使用して作業の効率化を図ることができる。</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：表作成の基本操作①</p> <p>02：表作成の基本操作②</p> <p>03：表の編集操作</p> <p>04：表の編集操作</p> <p>05：集計表の作成①</p> <p>06：集計表の作成②</p> <p>07：ワークシート間の集計①</p> <p>08：グラフの基本①</p> <p>09：グラフの基本②</p> <p>10：グラフの基本③</p> <p>11：グラフ編集</p> <p>12：データ抽出</p> <p>13：模擬練習①</p> <p>14：模擬練習②</p> <p>15：模擬練習③</p>				
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	該当ページの確認				

## Syllabus

学科名 1年制行政法律科					
授業科目	職業実践Ⅷ	授業形態	講義	区分	選択必修
年次	1	時期	後期	担当	本学園教員及び実務家担当者（ウサミハウス）
授業回数	15	単位	1	実務家	不動産会社経営
授業目的 概要	<p><b>【目的】</b> 講義を通じて、視野の広い社会人の育成を目指す</p> <p><b>【概要】</b> 特定の分野にこだわらず、様々な分野の講演を行う</p>				
到達目標	<p>学生個人の活動範囲の幅を広げる</p> <p>講演の中で興味を抱かせ、活動の動機作りを行う</p> <p>チャレンジ精神を持たせる</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：職場における自分の役割①</p> <p>02：職場における自分の役割②</p> <p>03：暮らしとお金①</p> <p>04：暮らしとお金②</p> <p>05：暮らしとお金③</p> <p>06：暮らしと文化①</p> <p>07：暮らしと文化②</p> <p>08：コミュニケーションスキル実践①</p> <p>09：コミュニケーションスキル実践②</p> <p>10：日常生活と法①</p> <p>11：日常生活と法②</p> <p>12：日常生活と法③</p> <p>13：日常生活と法④</p> <p>14：日常生活と法⑤</p> <p>15：日常生活と法⑥</p>				
テキスト 参考文献	プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	特になし				

## Syllabus

学科名 1年制行政法律科					
授業科目	卒業実践研究Ⅱ	授業形態	講義	区分	選択必修
年次	1	時期	後期	担当	本学園教員
授業回数	15	単位	1	実務家	
授業目的 概要	<p><b>【目的】</b> 学生生活を通じて関心を持った事柄に対して、様々な媒体より情報収集を行い、テーマに対しての幅広い知識と自分の考えや意見を発表する。</p> <p><b>【概要】</b> 情報収集、分析を行ったうえでスライド作成、発表を行う。</p>				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 発表にふさわしい題材の選出</li> <li>2. 社会人を意識したプレゼン発表</li> <li>3. 見る側を意識したスライド作成</li> </ol>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：題材研究 1 02：題材研究 2 03：原稿作成 1 04：原稿作成 2 05：スライド作成 1 06：スライド作成 2 07：発表練習 1 08：発表練習 2 09：発表練習 3 10：発表練習 4 11：発表練習 5 12：発表練習 6 13：発表練習 7 14：発表練習 8 15：研究発表</p>				
テキスト 参考文献	プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	研究課題を事前検討				

## Syllabus

学科名 1年制行政法律科					
授業科目	ビジネスマナー基礎演習Ⅱ	授業形態	講義	区分	選択必修
年次	1	時期	後期	担当	本学園教員
授業回数	15	単位	1	実務家	
授業目的 概要	<p><b>【目的】</b> 入社後に必要とされるマナーや仕事の進め方、電話応対等の実践的なスキルを身に付ける。</p> <p><b>【概要】</b> 就職活動時におけるマナーや技能について、ロールプレイ形式により身に付ける。</p>				
到達目標	<p>社会人に必要なマナーを理解する。</p> <p>立ち居振舞、正しい敬語を使うことができる。</p> <p>基本的な電話応対スキルが身に付いている。</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：ビジネスコミュニケーション基礎①</p> <p>02：ビジネスコミュニケーション基礎②</p> <p>03：ビジネスコミュニケーション演習</p> <p>04：職場のマナー</p> <p>05：挨拶と敬語</p> <p>06：電話の受け方</p> <p>07：電話応対①</p> <p>08：電話応対②</p> <p>09：電話応対③</p> <p>10：電話応対のロールプレイ①</p> <p>11：電話応対のロールプレイ②</p> <p>12：電話応対のロールプレイ③</p> <p>13：電話応対のロールプレイ④</p> <p>14：電話応対のロールプレイ⑤</p> <p>15：電話応対のロールプレイ⑥</p>				
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	テキストの内容確認をする。				

## Syllabus

学科名 1年制行政法律科					
授業科目	行政学	授業形態	講義	区分	選択必修
年次	1	時期	前期	担当	本学園教員
授業回数	15	単位	2	実務家	
授業目的 概要	<p><b>【目的】</b> 講義を通して行政学の理論、歴史的背景、実例を学び、行政学の基礎知識を習得する</p> <p><b>【概要】</b> 行政学の発展や現在の行政の在り方について学ぶ</p>				
到達目標	<p>行政理論の成立と日本の行政について説明できる</p> <p>組織理論と官僚制論について説明ができる</p> <p>政策決定までの流れやその責任について説明できる</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：行政国家と福祉国家</p> <p>02：行政理論①</p> <p>03：行政理論②</p> <p>04：組織理論</p> <p>05：行政組織①</p> <p>06：行政組織②</p> <p>07：官僚制論</p> <p>08：公務員制度</p> <p>09：政策過程①</p> <p>10：政策過程②</p> <p>11：予算・決算制度</p> <p>12：行政責任・行政統制①</p> <p>13：行政責任・行政統制②</p> <p>14：地方自治①</p> <p>15：地方自治②</p>				
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

## Syllabus

学科名 1年制行政法律科					
授業科目	国際関係	授業形態	講義	区分	選択必修
年次	1	時期	後期	担当	本学園教員
授業回数	15	単位	2	実務家	
授業目的 概要	<p><b>【目的】</b> グローバル化が進む現代社会において、国際的な視点を持つことの重要性を認識し、国際社会の平和維持に貢献する意欲を育む。</p> <p><b>【概要】</b> 戦後の国際社会の構造を学ぶ</p>				
到達目標	<p>1. 国際政治、国際経済、国際法、国際社会などの基礎概念や理論を理解する。</p> <p>2. 現代の国際社会における主要な課題や出来事について学ぶ。</p> <p>3. 国際関係の歴史的な変遷を理解する。</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：戦後国際政治史①（東西冷戦の構造と第三世界）</p> <p>02：戦後国際政治史②（平和共存路線と多極化、デタント）</p> <p>03：戦後国際政治史③（冷戦の終結）</p> <p>04：戦後国際政治史④（核開発と軍縮）</p> <p>05：国際機関①（国際連盟と国際連合）</p> <p>06：国際機関②（国連安保理とPKO）</p> <p>07：国際機関③（その他の国連主要機関）</p> <p>08：地域機構①（欧州における経済統合の道と欧州連合）</p> <p>09：地域機構②（ASEAN等の世界各地の地域機構）</p> <p>10：国際経済①（ブレトンウッズ体制の誕生と崩壊）</p> <p>11：国際経済②（WTOおよび地域経済統合）</p> <p>12：国際社会問題（地球温暖化、人権問題）</p> <p>13：国際関係理論（現実主義と理想主義、構成主義等 その他理論）</p> <p>14：国際紛争①（パレスチナ問題と中東の覇権争い）</p> <p>15：国際紛争②（旧ソ連構成国の紛争、アジア地域の紛争）</p>				
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	前回授業の要点整理をし、授業開始時の前回の復習問題に正答できること。				

## Syllabus

学科名 1年制行政法律科					
授業科目	民法Ⅳ	授業形態	講義	区分	選択必修
年次	1	時期	後期	担当	本学園教員
授業回数	15	単位	2	実務家	
授業目的 概要	<p><b>【目的】</b> 講義を通して民法典（債権法・家族法）の理解度を向上させる</p> <p><b>【概要】</b> 民法全体にわたる条文規定・判例を学習する</p>				
到達目標	<p>1. 物権法、債権法に関する条文知識や判例並びに学説を理解する。</p> <p>2. 債権法の問題に関する理解度を向上させる。</p> <p>3. 家族法の問題に関する理解度を向上させる。</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：契約総論①</p> <p>02：契約総論②</p> <p>03：契約各論①</p> <p>04：契約各論②</p> <p>05：契約各論③</p> <p>06：契約各論④</p> <p>07：契約各論⑤</p> <p>08：契約以外の債権発生原因①</p> <p>09：契約以外の債権発生原因②</p> <p>10：契約以外の債権発生原因③</p> <p>11：契約以外の債権発生原因④</p> <p>12：親族法①</p> <p>13：親族法②</p> <p>14：相続法①</p> <p>15：相続法②</p>				
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	授業の内容をテキストで事前確認しておくこと。				